

## 報道資料

### 消費動向調査（令和2（2020）年2月実施分） 調査結果の要点

令和2（2020）年2月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、1月の39.1から0.7ポイント低下して38.4となり、5か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する4項目全てが前月から低下した。

消費者態度指数の動きから見た2月の消費者マインドの基調判断は、**足踏みがみられる**。（下方修正、前月の表現：持ち直しの動きがみられる。）

#### 消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
令和元（2019）年	12月調査	39.1	（+0.4）
令和2（2020）年	1月調査	39.1	（0.0）
	2月調査	38.4	（0.7）

令和2（2020）年2月の1年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、前月差で見ると、「上昇する」の回答の割合が1.7ポイント減少したのに対して、「変わらない」が0.5ポイント、「低下する」が0.7ポイント、それぞれ増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。

（据置き：前月からの表現の変更はなし。）

#### 1年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する		変わらない		上昇する		分からない	
			前月差		前月差		前月差		前月差
令和元（2019）年	12月調査	4.6	0.1	14.1	0.2	78.8	+0.7	2.5	0.3
令和2（2020）年	1月調査	4.8	+0.2	14.4	+0.3	78.2	0.6	2.8	+0.3
	2月調査	5.5	+0.7	14.9	+0.5	76.5	1.7	3.1	+0.3

「日ごろよく購入する品物の価格」の1年後の見通しについて聞いており、この価格は品物を購入する時に実際に支払う金額であり、品物の購入と同時に徴収される諸税を含む。

消費動向調査（令和2（2020）年1月実施分）  
調査結果の要点

令和2（2020）年1月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、令和元（2019）年12月と変わらず39.1となった。消費者態度指数を構成する4項目のうち、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇した一方、「暮らし向き」及び「収入の増え方」が前月から低下した。

消費者態度指数の動きから見た1月の消費者マインドの基調判断は、**持ち直しの動きがみられる**。（据置き、前月から表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
令和元（2019）年	11月調査	38.7	（+2.5）
	12月調査	39.1	（+0.4）
令和2（2020）年	1月調査	39.1	（0.0）

令和2（2020）年1月の1年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、前月差で見ると、「上昇する」の回答の割合が0.6ポイント減少したのに対して、「変わらない」が0.3ポイント、「低下する」が0.2ポイント、それぞれ増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。

（据置き：前月からの表現の変更はなし。）

1年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する		変わらない		上昇する		分からない	
			前月差		前月差		前月差		前月差
令和元（2019）年	11月調査	4.7	0.5	14.3	+4.5	78.1	4.5	2.8	+0.3
	12月調査	4.6	0.1	14.1	0.2	78.8	+0.7	2.5	0.3
令和2（2020）年	1月調査	4.8	+0.2	14.4	+0.3	78.2	0.6	2.8	+0.3

「日ごろよく購入する品物の価格」の1年後の見通しについて聞いており、この価格は品物を購入する時に実際に支払う金額であり、品物の購入と同時に徴収される諸税を含む。